

6学年 図画工作科 授業計画

広島市立 石内小学校

◆ 教科の目標

- (1) 創造的に表現したり鑑賞したりする態度を育てるとともに、つくりだす喜びを味わうようにする。
 (2) 材料などの特徴をとらえ、想像力を働かせて発想し、主題の表し方を構想するとともに、様々な表し方を工夫し、造形的な能力を高めるようにする。
 (3) 親しみのある作品などから、よさや美しさを感じ取るとともに、それらを大切にするようにする。

◆ 評価の観点

- ・自分の思いをもって表現したり、鑑賞したりしながら、つくりだす喜びを味わおうとする。
- ・感じたことや見たこと、材料や場所などの特徴を基に表したいことを思い付いたり、形や色、用途や構成などを考えたりしている。
- ・感覚を働かせたり経験を生かしたりしながら、表したいことに合わせて材料や用具を使い、様々な表し方を工夫している。
- ・親しみのある作品などの形や色などから、表現の意図や特徴をとらえたり、よさや美しさを感じ取ったりしている。

◆ 評価の方法

関心・意欲・態度 発想や構想 技能 材料や用具の使い方 作品 鑑賞

◆ 学期ごとの学習内容と学習のポイント

	学習すること	学習のポイント
前期	<ul style="list-style-type: none"> ○ 身近なものを見つめて ○ 篆刻 ○ くねくねアート ○ ランプシェード ○ きょうかしよびじゅつかん 	<ul style="list-style-type: none"> ・身近なものや友だちを見つめ直し、構図を工夫して、線の美しさが出るように線を引いて彩色する。 ・白や黒の対比などを考えながら、文字の形を工夫して下絵を構想し、彫りや刷りの効果を確認しながら、見通しをもって製作する。 ・つくりたいものの形をアイデアスケッチなどで確かめ、材料の特徴を生かした組み合わせ方や用具の使い方などを工夫する。 ・光と影のバランスを考えて、下絵を構想し、作りたい形になるように表し方を工夫する。 ・作品を自分の生活体験表現や表現と関連づけて鑑賞し、作者の意図などを作品から解釈しようとする。
後期	<ul style="list-style-type: none"> ○ 色を選んで木版で表すと ○ わたしの町 ○ のばして、まるめて、くっつけて ○ 生まれ変わった板たち生活に使えるHAKO ○ 夢を集めて 	<ul style="list-style-type: none"> ・白や黒の対比など、版による表現の特徴を生かして下絵を構想し、彫りや刷りの効果を確認しながら、見通しをもって製作する。 ・身近な風景について見つめ直し、構図を工夫して、線の美しさが出るように線を引いて彩色する。 ・粘土の板を曲げたり、つけたりしてできる形や空間に興味を持ち、いろいろな用具を使い、好きな形を丈夫につくる。 ・板材を生かして、生活に役立つものをつくる。 ・みんなで協力してアイデアを出し合い、卒業などの記念になるものをつくる。